

News Release

2021年11月25日
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

2021年度 上期の電気機器の状況

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA、会長:東原 敏昭)では、2021年度 上期の電気機器の状況を纏めましたので、以下の通りご報告致します。

1. 概要

2021年度上期の世界経済は、先進国ではワクチン接種が進み経済活動を再開した一方で、一部の新興国では感染拡大に伴い防疫措置を講じる必要が生じるなど、国や地域によりばらつきが見られるものの、回復基調が続いています。

わが国経済は、感染拡大に伴い断続的に緊急事態宣言が発令される中、一進一退の状況が続きました。欧州、米国、中国の回復を受け、企業活動は持ち直しつつありますが、個人消費は防疫措置が続く中で、増加と減少を繰り返す動きとなりました。

このような回復基調の中、半導体、部品、原材料の供給不足などサプライチェーンの課題及び原油価格等の高騰が、世界経済の下振れリスクとして懸念されます。

2021年度の上期の電気機器の状況を表1に示します。

重電分野の国内生産は、1兆6,199億円、前年同期比114.4%と前年同期を上回りました。

家電分野の国内出荷は、1兆3,221億円、前年同期比96.5%と前年同期を下回りました。前年の巣ごもり需要、及び特別定額給付金による需要増加等の反動を受けましたが、過去10年上期平均(1兆2,472億円)は上回っております。

また、重電機器、白物家電機器を合わせた電気機器の2021年度上期生産実績は、2兆6,280億円、前年同期比109.2%となりました。

【表1】2021年度 上期の電気機器の状況

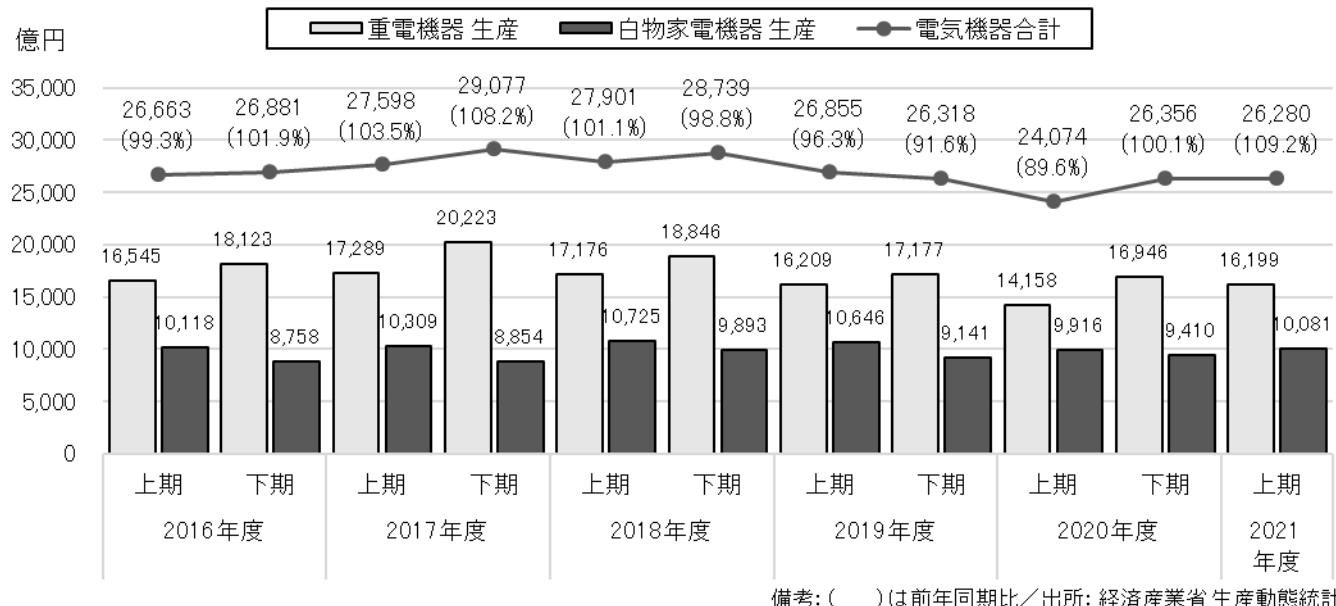
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
重電機器 国内生産	16,199	114.4
白物家電機器 国内生産	10,081	101.7
電気機器 国内生産 合計	26,280	109.2
白物家電機器 国内出荷	13,221	96.5

備考:

1:国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。

2:白物家電機器国内出荷は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による。

3:端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある。



【図1】電気機器の半期別国内生産額推移

2. 重電機器分野

2. 1 国内生産の状況

(1) 上期国内生産実績の概要

上期の重電機器合計は、1兆6,199億円、前年同期比114.4%と前年同期を上回りました。

発電用原動機は、世界的なCO₂排出抑制の動きに伴う石炭火力発電機器市場の縮小による影響もあり、蒸気タービン、ガスタービンは前年同期を下回りましたが、ボイラが低水準だった前年同期を大きく上回ったため、発電用原動機全体としては、前年同期を上回る形となりました。

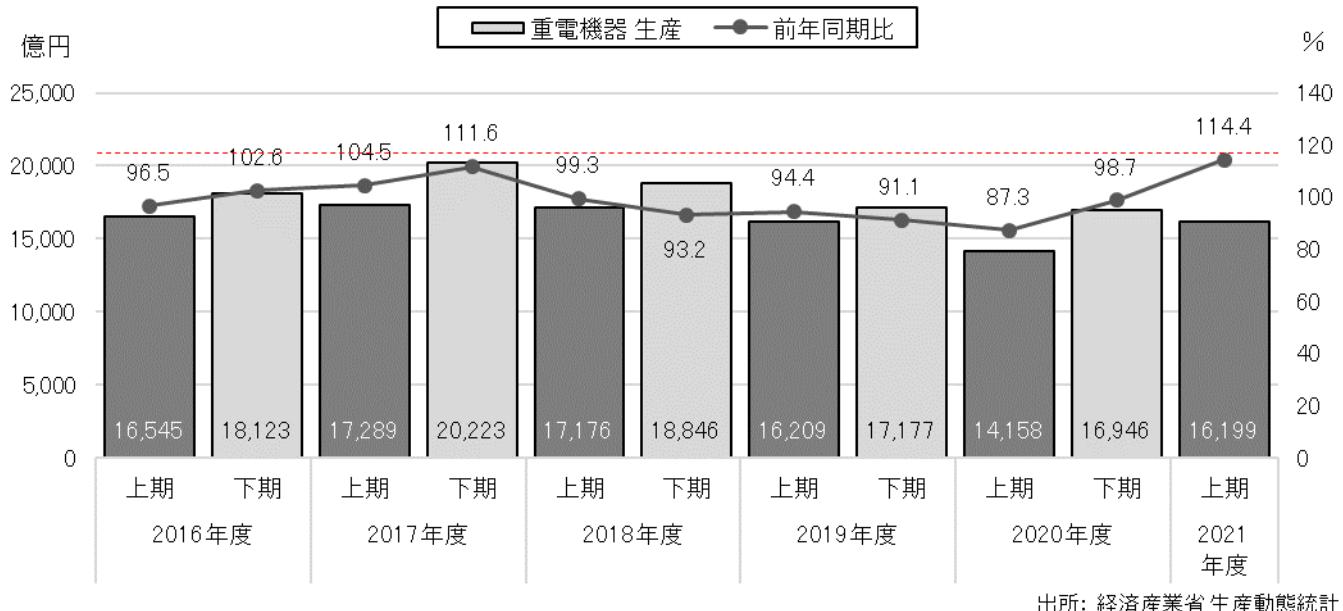
回転電気機械、静止電気機械器具、開閉制御装置・開閉機器は、前年同期を上回りました。特に、製造業向けの設備投資が回復し、交流電動機、サーボモータ、サーボアンプ、プログラマブルコントローラなどの産業用汎用機器が好調に推移しました。

【表2】重電機器の2021年度 上期生産実績

品目	区分	金額 (億円)	前年同期比 (%)
重電機器合計 (1+2+3+4)		16,199	114.4
1.発電用原動機計		1,659	113.5
ボイラ		1,045	203.1
蒸気タービン		226	80.8
ガスタービン		387	58.1
2.回転電気機械計		4,858	125.9
直 流 機		16	117.7
交流発電機		427	104.2
交流電動機		1,673	131.8
サーボモータ		530	133.1
小形電動機(70W未満)		1,798	124.2
電動機一体機器		414	128.9
3.静止電気機械器具計		2,872	102.5
変 压 器		1,049	98.4
電力変換装置		1,467	106.5
うち無停電電源装置		(202)	(97.5)
うち汎用インバータ		(255)	(104.8)
うちサーボアンプ		(497)	(120.8)
その他の静止電気機械器具		355	99.6
4.開閉制御装置・開閉機器計		6,812	112.8
開閉制御装置		3,083	104.9
密閉形ガス絶縁開閉装置		347	112.0
閉鎖形配電装置		878	93.5
分電盤		480	101.0
監視制御装置		988	115.7
その他の開閉制御装置		390	107.6
開閉機器		3,728	120.4
保護継電器		80	86.7
低圧開閉器・制御機器		2,619	123.4
うちプログラマブルコントローラ		(514)	(112.7)
高圧開閉器		133	94.7
低圧遮断器		484	114.6
高圧遮断器		146	104.2
電磁クラッチ		266	148.3

備考: 1:国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。

2:端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある。



【図2】重電機器の半期別国内生産額推移

(2) 下期の国内生産動向

10月22日に閣議決定された「第6次エネルギー基本計画」は、2050年のカーボンニュートラルを見据えた2030年に向けた政策対応が示されており、再エネの主力電源化、徹底した省エネのさらなる追求など、高い目標が掲げられています。

脱炭素化に向けた政策が進められている中、発電用原動機は、受注低迷が継続することから前年同期を下回ると見通しております。電力向けの変圧器、開閉制御装置等は、再エネの主力電源化に伴う、次世代電力ネットワーク(送電網、配電網)の構築において、将来的には大きな需要の増加が見込まれるもの、期待されるレベルまでの回復は見込まれません。

製造業向けの設備投資の継続により、交流電動機、サーボモータ、サーボアンプ、プログラマブルコントローラなどの産業用汎用機器は、好調な受注増を反映して、上期同様、好調に推移すると見通しております。

重電機器全体の下期生産は、前年同期を上回ると見通しております。

一方で、半導体、部品、原材料の供給不足などサプライチェーンの課題及び原油価格等の高騰の下振れリスクが懸念されます。

【参考】重電機器の2021年度 上期国内生産実績(生産分類別)

経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMA が受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました。

【表3】重電機器の2021年度 上期国内生産実績(生産分類別)

	金額 (億円)	前年同期比 (%)
受注生産品*1	5,889	105.0
発電用原動機	1,659	113.5
電力・一般産業用機器	4,231	102.0
産業用汎用電気機器*2	7,021	124.1
その他の重電機器*3	3,289	113.7
重電機器合計	16,199	114.4

* 1 受注生産品：発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等。電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備。

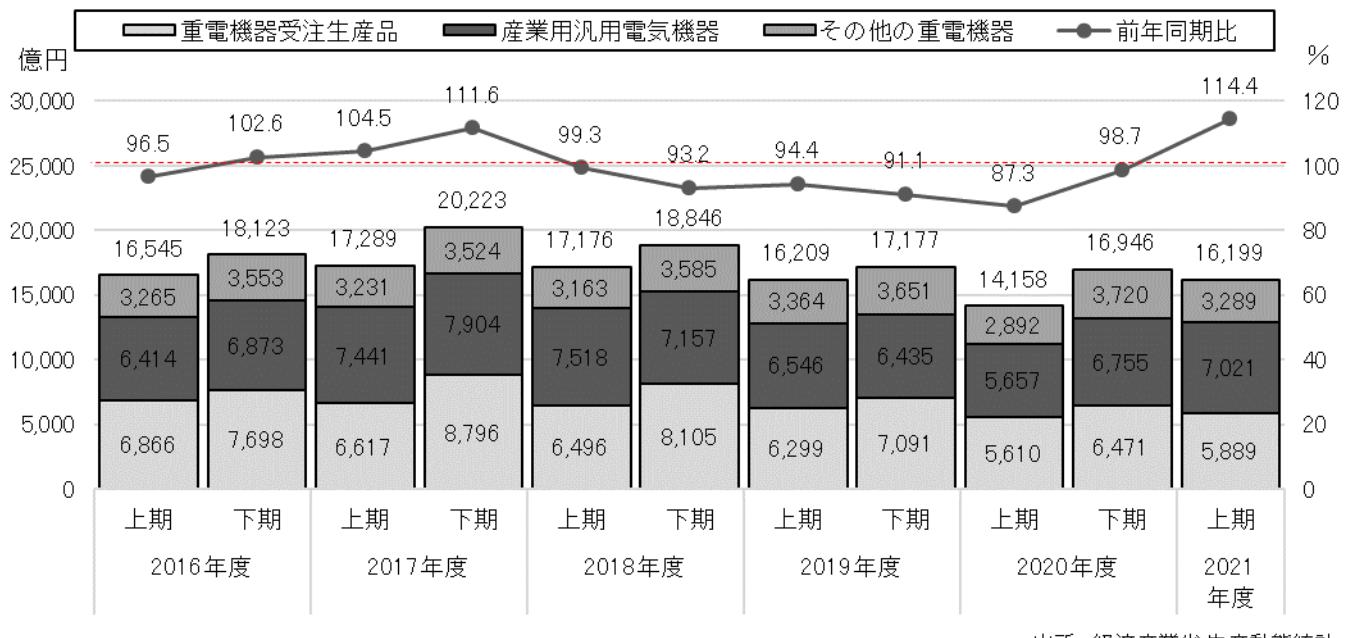
* 2 産業用汎用電気機器：汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等。需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品。流通は代理店経由が多い。

* 3 その他の重電機器：機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、データとして分類できない機器。

備考：

1:国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。

2:端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある。



出所：経済産業省 生産動態統計

【図3】重電機器の半期別国内生産額推移(生産分類別)

3. 白物家電機器分野

3. 1 国内出荷の状況

(1) 上期国内出荷実績の概要

上期の白物家電機器合計の国内出荷額は、1兆3,221億円、前年同期比96.5%となり、前年同期を下回りました。6月以降は前年の巣ごもり需要、及び特別定額給付金による需要増加等の反動を受けましたが、過去10年の上期平均(1兆2,472億円)は上回っており、高い水準を維持しています。

製品別で見ると、ルームエアコンは前年の出荷増の反動に加え、気温低下・天候不順の影響もあり、過去最高を記録した昨年度上期実績を下回りました。電気冷蔵庫も同様に、昨年度上期実績を下回りました。電気洗濯機は衣類の清潔意識の高まりから、引き続き「洗濯乾燥機(ドラム式)」が好調です。

家庭での食事機会の増加により、電子レンジの金額は前年並みでしたが数量は過去最高となりました。また、空気を清潔に保ちたいとの消費者ニーズにより、空気清浄機や換気扇が好調に推移しました。空気清浄機は、過去最高を記録した昨年度上期実績は下回ったものの、過去2番目の高水準となりました。

【表4】白物家電機器の2021年度上期国内出荷実績

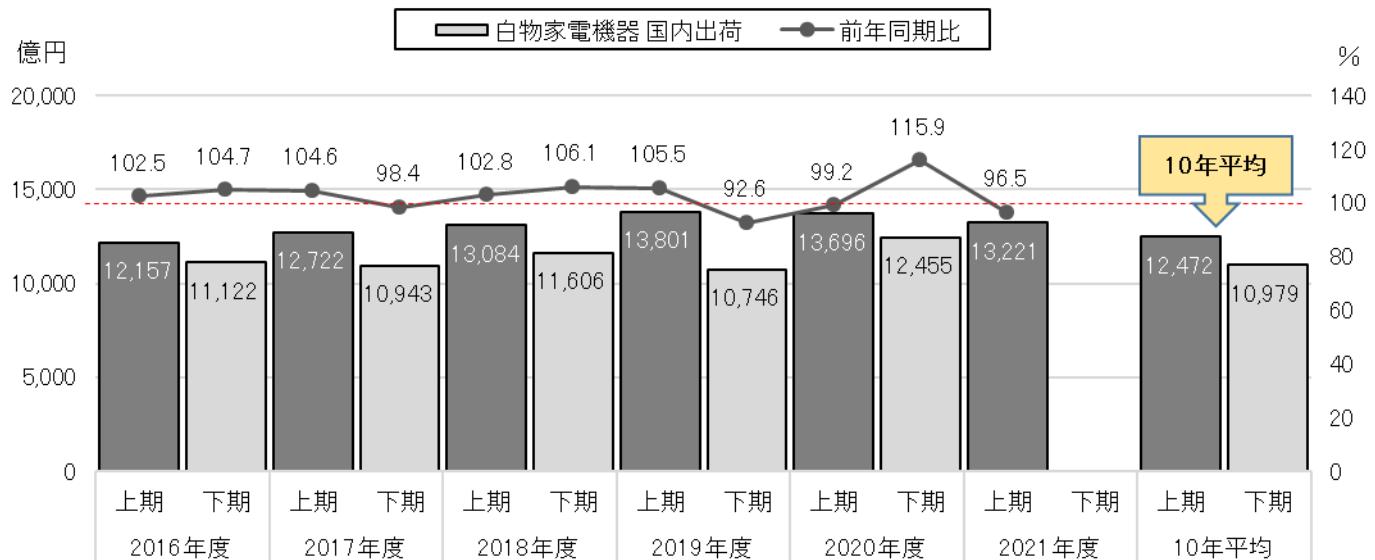
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
ルームエアコン	4,763	92.7
電気冷蔵庫	2,365	95.6
電気洗濯機	1,908	97.6
うち洗濯乾燥機(ドラム式)	(779)	(105.1)
電気掃除機	437	94.8
空気清浄機	266	98.7
電子レンジ	431	100.8
ジャー炊飯器*	462	93.7
換気扇	636	107.7
その他(上記8品目以外)	1,954	103.4
白物家電機器合計	13,221	96.5

*ジャー炊飯器: 保温機能(ジャー)がついた電気炊飯器。

備考

1: 国内出荷は、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)による。

2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある。



出所: 日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

【図4】白物家電機器の半期別国内出荷額推移

(2) 下期の国内出荷動向

下期においては、巣ごもり需要は落ち着く一方、健康清潔需要は継続すると考えられ、昨年度下期は下回るもの、過去10年下期平均(1兆979億円)は上回ると見通しております。

一方で、白物家電機器においても、半導体、部品、原材料の供給不足などサプライチェーンの課題及び原油価格等の高騰の下振れリスクは懸念されます。

3. 2 国内生産の状況(ご参考)

【表5】白物家電機器の2021年度上期国内生産実績

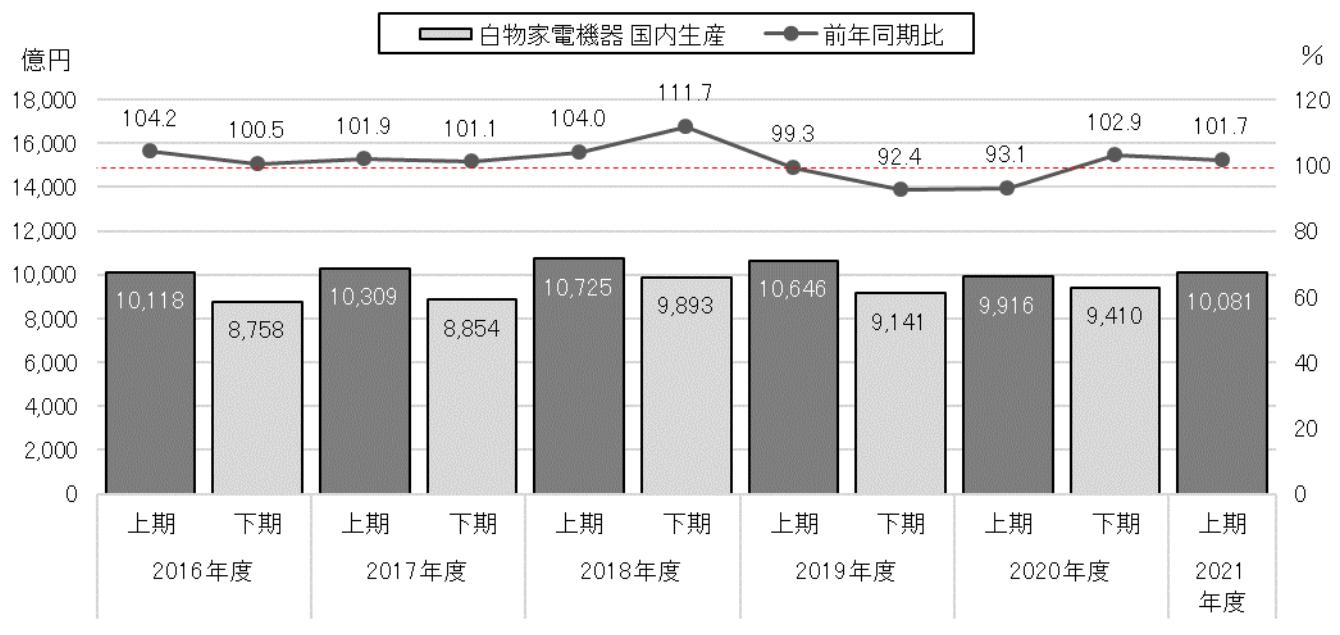
	金額 (億円)	前年同期比 (%)
ルームエアコン	3,243	95.7
電気冷蔵庫	1,192	101.5
電気洗濯機	359	90.0
電気掃除機	176	104.6
電気がま*	297	97.5
その他(上記5品目以外)	4,815	107.4
白物家電機器合計	10,081	101.7

*電気がま:保温機能(ジャー)がないものも含む。

備考

1:国内生産は、経済産業省 生産動態統計による。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある。



出所: 経済産業省 生産動態統計

【図5】白物家電機器の半期別国内生産額推移

以 上

本資料に関する弊会お問い合わせ先

統計関係 企画部統計課

その他 企画部広報室

TEL:03-3556-5882

URL:<https://www.jema-net.or.jp/>